



グローバル人材育成:産学官の接点

会員・関係者各位

新緑の候、会員の皆様には益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

2004年以降、海外へ留学する日本人学生は減少し、特に米国の大学に在籍する日本人学生数も大きく落ち込み、お隣の中国や韓国にも大きく差をつけられています。そうした中、平成24年(2012年)、文部科学省より「産学連携によるグローバル人材育成推進会議」の最終報告が出され、高等教育の国際化を進め、産学官を通じてグローバル人材の育成に取り組む方針が出されました。その一つの結果がスーパーグローバル大学創成支援へとつながり、豊かな語学力・コミュニケーション能力や異文化体験を身につけ国際的に活躍できる人材を継続的に育てる取り組みが進められています。これに付随して、英語教員の資質・能力の向上、留学の促進、大学入試改革、中高大の接続の改善、国際的ボランティア活動の促進、日本文化の発信など、取り組むべき課題も山積です。

こうした状況の中、春の研究大会では、グローバル企業の Google や楽天をはじめ、この取り組みに産学官で先導的に活躍されている方々を講師としてお招きします。この機会に、グローバル人材育成の現状、課題、具体的取り組み等について事例や示唆を共有した上で、我々が外国語教育の現場でどう対応して行くべきか、また ICT 等のメディアが環境改善にどう役立つかなど、会員の皆様と議論できれば幸いです。

多くの会員の皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

2016 年 5 月

外国語教育メディア学会
関東支部長 湯舟 英一

記

主催	外国語教育メディア学会 (LET) 関東支部
後援	東京都教育委員会 (申請中) 早稲田大学総合人文科学研究センター
期日	2016 年 6 月 18 日 (土曜日)
会場	早稲田大学戸山キャンパス 〒162-8644 新宿区戸山 1-24-1 地下鉄東西線早稲田駅下車徒歩 3 分

外国語教育メディア学会 (LET) 関東支部事務局

〒370-0033 群馬県高崎市中大類町 58-2
高崎健康福祉大学 人間発達学部
嶋田和成研究室内
電話: 027-352-5558 ファックス: 027-352-1311
E-mail: kanto-office@j-let.org

時 程

9:00 ~ 受付

36号館 2階エントランスホール

9:30 ~ 12:40

研究発表・実践報告 1

36号館 6階 681教室

司 会 大久保 雅子 (東京大学)
小野 雄一 (筑波大学)

- 9:30 ~ 10:00 ① 研究発表 (2015年度関東支部研究支援プログラム成果報告)
「Non-CALL 語注と CALL 語注による L2 日本語学習者の
テキスト理解」
李 虹儀 (お茶の水女子大学大学院生)
- 10:00 ~ 10:30 ② 研究発表
「Web システムを活用した学習が語彙学習方略に対する
意識に与える影響」
鈴木 政浩 (西武文理大学)
竹口 恵理子 (熊本大学大学院生)
- 10:35 ~ 10:45 ① 賛助会員プレゼンテーション 英語運用能力評価協会
- 10:50 ~ 11:20 ③ 実践報告
「The Effectiveness of MOOCs on Japanese University
Students: A Case Study of EFL Learning Through
Focus on a Self-study」
Yasuko Sato (Niigata University of International
and Information Studies)
- 11:20 ~ 11:50 ④ 実践報告
「Introduction of a Web- and Mobile-Based Platform for
EIL Learners and Teachers in Japan」
Glen Andrew Stewart (Bunkyo University)
- 11:55 ~ 12:05 ② 賛助会員プレゼンテーション 株式会社 成美堂
- 12:10 ~ 12:40 ⑤ 実践報告
「ラーニング・アナリティクス法による英字新聞読解過程
究明の試み」
中野 美知子 (早稲田大学)

9:45 ~ 15:00

賛助会員展示

31号館1階

104、106教室

10:00 ~ 12:05

研究発表・実践報告 2

36号館6階682教室

司会 中田 ひとみ (獨協大学)

森谷 祥子 (東京大学大学院生)

10:00 ~ 10:30

⑥ 研究発表

「タブレット PC を使った英文音読の自動評価システムの開発」

山内 豊 (東京国際大学)

峯松 信明 (東京大学)

川村 明美 (東京国際大学)

西川 恵 (東海大学)

加藤 集平 (HOYA サービス株式会社)

10:35 ~ 10:45

③ 賛助会員プレゼンテーション 株式会社 レアジョブ

10:50 ~ 11:20

⑦ 研究発表

「誤り検出に基づくシャドーイング音声自動評価の精度向上」

峯松 信明 (東京大学)

山内 豊 (東京国際大学)

11:20 ~ 11:50

⑧ 実践報告

「iPad の録画編集機能で高める英語劇アウトプット活動」

栄利 滋人 (仙台市立大野田小学校)

11:55 ~ 12:05

④ 賛助会員プレゼンテーション 株式会社 内田洋行

9:30 ~ 12:05

研究発表・実践報告 3

31号館1階103教室

司会 二瓶 マリ子 (神奈川大学)
飛田 ルミ (足利工業大学)

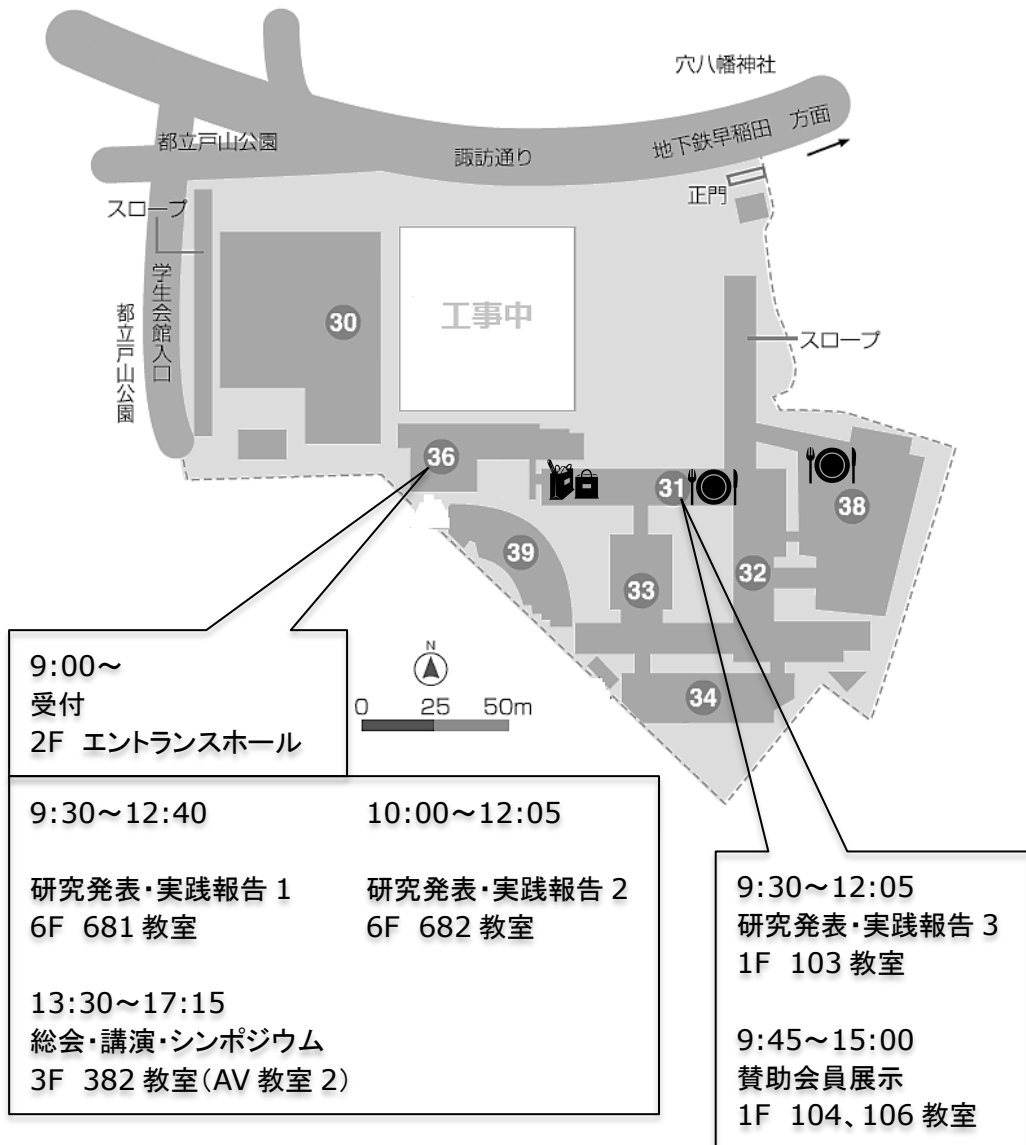
- 9:30 ~ 10:00 ⑨ 実践報告 (2015年度関東支部研究支援プログラム中間発表)
「大学生を対象とした体育分野 ESP 教材を導入した授業
実践報告」
大和久 吏恵 (日本女子体育大学)
カレイラ松崎 順子 (東京経済大学)
- 10:00 ~ 10:30 ⑩ 研究発表
「指導方法の相違による EFL 学習者に効果的な Reading
strategies: Interactive Reading Conception の形成と
活性化を中心として」
中村 博生 (高崎健康福祉大学)
廣瀬 浩二 (明倫短期大学)
- 10:35 ~ 10:45 ⑤ 賛助会員プレゼンテーション
リアリーイングリッシュ株式会社
- 10:50 ~ 11:20 ⑪ 研究発表
「アカデミック指向型日本語コースのための Can-Do リスト
開発と改良: 読解技能を例に」
鈴木 美加 (東京外国語大学)
- 11:20 ~ 11:50 ⑫ 研究発表
「日本の大学一般英語教育におけるプロジェクト・ワークと
テーマの親近性(Closeness)の効果」
早田 武四郎 (元長崎ウエスレヤン大学)
- 11:55 ~ 12:05 ⑥ 賛助会員プレゼンテーション 株式会社 桐原書店

昼食・賛助会員展示

- 昼 食** 研究大会当日は学生食堂(生協)が営業しております。
また、早稲田駅付近にも飲食店が多くあります。
- 展 示** 31号館1階104、106教室では、ブースを設けて
賛助会員による展示を行っております(9:45~15:00)。

キャンパスマップ

(早稲田大学戸山キャンパス)



* 早稲田大学喫煙所マップより改変

<http://www.waseda.jp/top/assets/uploads/2015/09/20150918toyama.png>

13:30 ~ 14:00

総会・開会行事

36号館3階382教室(AV教室2)

司会 今野 勝幸 (静岡理科大学)

LET 関東支部長挨拶 湯舟 英一 (東洋大学)

14:05 ~ 14:35

特別講演

36号館3階382教室(AV教室2)

司会 斎藤 裕紀恵 (早稲田大学)

「グローバル時代を生き抜く」

講師 村上 憲郎 (元 Google 米国本社副社長)

グローバル時代の到来が叫ばれるようになって久しい。グローバル化そのものの是非について賛否があるとしても、それは避けがたい現実である。米国の住宅ローンの焦げ付きが全世界の経済危機を招いた、いわゆるリーマン・ショック(2008年)が、グローバル化の現実の典型例として記憶に新しい。これから否応なしに、そんな時代を生き抜いて行かざるを得ない人達に、米 Google や幾つかのグローバル企業で働いた経験を持つ先行者として、このグローバル時代を生き抜く上での、いくつかの重要な事をお伝えしたい。

講師プロフィール: 国際大学 GLOCOM 主幹研究員・教授、大阪工業大学客員教授、会津大学参与、(株)エナリス 代表取締役社長、村上憲郎事務所代表。2003年、Google 米国本社副社長兼日本法人社長に就任。2009年より Google 日本法人名誉会長。現在は同社の経営から退き、村上憲郎事務所代表を務める。

LET とは？

Q: LET は他の英語教育系学会とどう違うのですか？

A: LET は英語教育だけでなく、あらゆる外国語教育について最先端の理論とそれに基づいた実践方法を探究する学会です。言語理論、学習理論、認知心理学、脳科学などの基礎理論研究から、教授法や教材開発、学習アプリ開発、SNS 利用、モバイル活用に至る教育工学を含みます。研究発表、実践報告、シンポジウム、賛助会員(企業)プレゼン、様々な研修会などを1年を通して開催しています。もっと効果的で魅力的な授業にしたい、生徒のやる気を高めたい、など授業改善を求めるあらゆる学年の外国語教員にお勧めです。この機会にご同僚やお知り合いをご紹介ください。

14:35 ~ 16:00

講演

36号館3階382教室(AV教室2)

司会 斎藤 裕紀恵 (早稲田大学)

「21世紀型教育を超えて」

講師 高橋 一也 (工学院大学附属中学校高等学校 中学教頭)

21世紀型教育やアクティブラーニングという言葉ばかりが人口に膾炙しているが、学習内容を行動へと実際に移す機会がないのが学校教育である。グローバル社会で活躍できる当事者意識を持った生徒を育てるプログラムについて考える。

講師略歴: 米ジョージア大学にてアクティブラーニングなどの研究に従事し、全米優等生協会に選出。2015年より現職。2015年、英国の国際教育機関バーキー財団によるグローバルティーチャーTOP 10に選出。

「言えれば必ず嫌われる大学英語教育の問題について」

講師 安藤 文人 (早稲田大学文学学術院 教授)

訳読中心から4技能型へと英語教育を転換した早稲田大学戸山キャンパス2学部の取り組みと新たな試みについて紹介し、その阻害要因について述べる。

講師略歴: 早稲田大学文学学術院教授(文化構想学部)、早稲田大学文学部で早くから4技能を中心とする英語教育を推進し、入試改革を進める。2012年、早稲田大学文化構想学部長。

(休憩5分)

「文科省におけるグローバル人材育成の取組」

講師 小林 万里子 (文部科学省初等中等教育局 国際教育課長)

文部科学省における最近のグローバル人材育成の取組について、特に、英語教育やスーパーグローバルハイスクールなどの取組をはじめ、今後の初等中等教育や高大接続の改革等の動向について紹介する。

講師略歴: 1993年文部省(当時)入省。OECD教育研究革新センター、外務省(パリ・ユネスコ日本政府代表部)等を経て、2013年初等中等教育局企画課教育制度改革室長、2015年度より現職。

「楽天の英語化から分かったこと」

講師 葛城 崇 (楽天株式会社グローバル人事部 副部長)

企業における英語の必要性を概括した上で、楽天の英語化の取り組みと結果を紹介し、そこから得られた知見について述べる。楽天では行動することで必要性が生まれたが、英語はあくまで手段である。日本の英語教育は必要性の理解と英語を使う場面設定に改善が必要である。

講師略歴: 楽天株式会社入社後、社内公用語英語化“Englishnization Project”のリーダーに就任。その後、Rakuten USAでの勤務を経て、2014~15年度文部科学省へ出向。

16:10 ~ 17:10

シンポジウム

36号館3階382教室(AV教室2)

司会 斎藤 裕紀恵 (早稲田大学)

「グローバル人材育成: 産学官の接点」

パネリスト	村上 憲郎	(元 Google 米国本社副社長)
	高橋 一也	(工学院大学附属中学校高等学校 中学教頭)
	安藤 文人	(早稲田大学文学学術院 教授)
	小林 万里子	(文部科学省初等中等教育局 国際教育課長)
	葛城 崇	(楽天株式会社グローバル人事部 副部長)

17:10 ~ 17:15

閉会の挨拶

36号館3階382教室(AV教室2)

LET 関東支部副支部長 下山 幸成 (東洋学園大学)

18:00 ~ 19:30

懇親会

FORESTA (東西線早稲田駅 1分)

懇親会を Restaurant & Bar FORESTA (新宿区喜久井町 65
カサヤビル 1F)で行います。

会費 3,000 円。大学院生は学生証提示で 1,500 円です。

懇親会のお申し込み

<https://goo.gl/g5Otok> より、6月11日(土)までに

お申し込みください。参加人数には限りがございます。

できるだけお早めにお申し込みくださいますようお願い申し上げます。



参加者へのご案内とお願い

- 1) 参加費について
<会 員> 参加費は無料です。
<団体会員> 各団体につき1名が無料で参加できます。
2人目からは1,000円をお支払いください。
<非 会 員> 1,000円(資料代) ※大学生、および早稲田大学教職員は無料です。
- 2) 録音・録画についてはお断りしています。ご了承ください。
- 3) 駐車場はございませんので、車でのご来場はご遠慮ください。